

事例集

【小学校編】

# 北海道から沖縄への遠隔地での取り組み

## みなみふらののいくとら 南富良野町立幾寅小学校

北海道空知郡南富良野町字幾寅西町  
電話番号 0167-52-2311  
FAX番号 0167-52-2375

|       |                |
|-------|----------------|
| 全学級数  | 6学級（特別支援学級3学級） |
| 全児童数  | 101名           |
| 全教職員数 | 14名            |

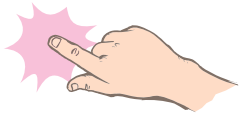
### 活動地域と宿泊先

沖縄県国頭郡本部町【受入組織：本部町教育委員会】 → 詳細は98ページ

| 地 域 名     | 宿 泊 施 設         |
|-----------|-----------------|
| 沖縄県国頭郡本部町 | 町内の宿泊施設 ホテル     |
| 沖縄県国頭郡本部町 | 町内の受入家庭 民泊（1泊）※ |
| 沖縄県那覇市    | 市内の宿泊施設 ホテル     |

※「友好の町」として交流している両町では、お互いに子ども達を一般家庭で受け入れしており、本部町の受け入れ家庭の子ども達を2月に南富良野町の一般家庭で受け入れしている。

### 活動のねらい



- (1) 南富良野町では、本部町との交流を子どもの段階から深め、**児童同士の友情の輪を広げる。**
- (2) 南富良野町と異なる風土や歴史、文化の違いを体験することを通して、**学ぶ意欲や自立心、思いやりの心などを育む。**
- (3) 長期宿泊体験及び民泊を体験することにより、集団生活における協調性や自立心はもとより、**思いやりの心や規範意識等を育む。**

### 取り組み前の課題

- (1) 児童の実態を踏まえ、社会性の育成や適正な人間関係の構築方法の習得

|          |                       |
|----------|-----------------------|
| 対象学年・児童数 | 6年生・20名               |
| 実施時期     | 平成21年6月29日（月）～7月3日（金） |

## 活動地域の選定で決め手となったポイント



- (1) 沖縄県本部町とは、互いに国体カヌー競技を開催したことを契機に、平成8年に「友好の町」として調印し、現在も交流事業が行われている点。
- (2) 両町の交流を通して築いてきた信頼関係の下、体験活動や民泊の調整、安全対策がしっかりと取られている点。
- (3) 北海道と異なる風土や歴史、文化の違いを体験することができる点。
- (4) 町内に海洋博公園や海水浴場などの体験施設があり、また宿泊施設も充実しているなど、長期宿泊体験の環境がそろっている点。

## 活動の成果

- (1) 指導計画や体験活動計画の中で、他の教科・領域等と体験活動の関連を明確にしたことにより、「戦争の恐ろしさを後の世代にも残し続けなければなりません。」など、児童の興味・関心の幅が広がったことがうかがえた。
- (2) 事前・事後の指導と体験活動との関連をもたせた指導計画を作成して指導したことにより、児童は見通しをもって取り組むことができていた。
- (3) 児童の実態を踏まえ、育てたい力を明確にした体験活動の計画を作成したことにより、主体的に他と関わり合いながら自他を見つめ、よりよく生きようという意識が見られるようになった。
- (4) 気候風土の違いによる生活習慣等の相違点に気付くとともに、「ひめゆりの塔では、今の時代に生まれてよかったと思いました。」「この平和を永遠に守り続けたいと思います。」など、郷土や日本について見直す態度を養うことができた。
- (5) 共通の目標に向かって児童が協力し合うようになり、活動前より仲間意識が向上した。
- (6) 多様な人々と接し、体験からその対応の仕方を学んだことで、他と関わりを持とうとするようになった。
- (7) 学校での清掃や係の仕事などを自主的にするようになった。
- (8) きちんと挨拶しようとする児童が増えた。

## 課題に対する解決策

- (1) 日常と異なる環境の中で、新たな事象との出会いを意図的に体験プログラムに設定した。
- (2) 人と人との絆の大切さを実感させるため、夕食歓迎会や民泊などの交流の場を設定した。

## 体験活動の実施体制 . . . . .

### 学校の指導（支援）体制

- (1) 平成3年度からの継続事業であり、**校内に推進委員会を設置**し、主に体験活動の内容に関する検討や協議を行った。**南富良野町と本部町の教育委員会**は、**交流事業本部**として、主に日程や交流事業に関する調整を進めてきた。**学校の推進委員会と交流事業本部が協力**して、保護者や地域の方々に事業の事前説明や事後発表を行う場を設定し、本事業に関する周囲の理解を促すよう努めた。
- (2) 5日間の引率教諭の交代は行わなかった。これは、遠隔地であり引継ぎが不可能であること、また**同一教員による指導の方が児童の変化を継続して把握するために有効**であると判断したためである。

## 配慮事項等（安全確保のための改善点、衛生上の留意点等） . . . . .

### 安全確保

- (1) 南富良野町と本部町の教育委員会とで安全確保（特に海に関して、消防のレスキュー職員を配置するなどの安全対策）に向けた事前打合せを電話等で行い、学校と打ち合わせを実施した。
- (2) 活動場所が前年度と同様であるため、事前の下見等は行わなかった。
- (3) 緊急対応時の連絡先を事前に十分確認した。

### 衛生上の留意点

- (1) 食物アレルギー等について事前調査をし、食事のメニュー等の事前調整を実施した。児童に自己管理の徹底を指導した。
- (2) 食中毒に配慮した調理の事前指導と調理前における手洗いを徹底するよう申し入れた。
- (3) 弁当については事前の腐食の点検を徹底した。



歓迎夕食会



マリン体験

## 感想 . . . . .

### 保護者からの声

- (1) 家庭では経験できない貴重な経験であり、子ども達の自主性が高められる。地域に対する興味や関心が広がった。
- (2) 以前に比べて身の回りで起こったことを帰宅してから話すようになった。
- (3) 家の手伝いをよくするようになった。



### 児童からの声

- (1) 昔、戦争があって、その人達は、この美しい沖縄を後の時代に残すために体をはってくれたことを忘れてはいけないと思います。
- (2) 北海道と沖縄との暑さの違いや北海道には無いマンゴーなどの食べ物の違いなどが勉強になりました。
- (3) 海には青色で綺麗な魚や黒い魚がいました。北海道とは海の色も違うし北海道にはいない魚がいて、ぜんぜん違うことがわかりました。
- (4) 来年行く6年生は戦争の歴史や本部との交流をさらに深めてほしいと思います。
- (5) 沖縄のことを身近に感じられるよい経験ができました。友達との絆も深まる貴重な時間をありがとうございました。
- (6) この経験を生かして、もっと成長できたらいいなと思いました。



上本部小学校歓迎会



パイナップル園の見学

## 実施までの経過 . . . . .

- 平成21年 3月 学校長と協議のうえ「豊かな体験活動推進事業」に応募することを決定。  
「事業計画書（案）」作成。
- 4月13日 文部科学省より「豊かな体験活動推進事業」の内定通知を受理。  
校内推進委員会を設置。交流事業本部である教育委員会が日程と事業内容を説明し、活動場所と体験プログラム案を決定。  
沖縄県本部町教育委員と体験プログラムの内容を協議。
- 5月15日 北海道と「豊かな体験活動推進事業」の委託契約を締結。
- 5月21日 保護者説明会を開催し、事業概要を説明。
- 5月29日 沖縄県本部町に事業の受入を文書依頼。
- 6月10日 引率者打合せ会議を開催。

# 活 動 内 容 . . . . .

## 事前指導

### (1) 活動の概要説明及び班での役割分担や目標の設定

交流事業本部である教育委員会職員から概要説明を行い、活動についての見通しを持たせた。その後、班毎に役割分担や「まちの紹介」の発表内容、宿泊について話し合った。

### (2) 活動に対する抱負作文を書く

南北での自然環境や文化の違いに対する思いや考え方、個々の学習目標、現地でどんなことを楽しみにしているか、といった交流や体験、民泊での現地の人々との関わり方の変容を見るために行った。また、結団式において町長や教育長、学校長の前で発表を行った。

### (3) 発表交流に向けた準備

班毎に作成した「まちの紹介」や全体で行う YOSAKOI ソーランの発表練習を行った。

## 日 程

| 月日                                 | 行 程                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                             |
|------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1<br>日<br>目<br>(6<br>月<br>29<br>日) | 5:25 役場前集合、出発式、出発<br>9:30 新千歳空港発<br>11:40 羽田空港発、昼食(弁当)<br>14:15 那覇空港着<br>16:45 本部町役場表敬訪問<br>19:00 歓迎夕食会<br>21:05 ホテル着、ミーティング<br>21:20 入浴<br>22:00 就寝                                                  |  <p>YOSAKOI ソーランの披露</p> |
| 2<br>日<br>目<br>(6<br>月<br>30<br>日) | 6:30 起床<br>7:30 朝食<br>8:50 伊豆味パイン園見学<br>10:45 上本部小学校着、歓迎会、昼食、共同学習<br>14:00 町民体育館着、交流学習<br>15:50 やんばるガラス工芸館着、琉球ガラスコップ製作体験<br>17:00 グリーンフラッシュビーチ着、マリン体験<br>19:00 夕食<br>20:10 ホテル着、ミーティング、入浴<br>22:00 就寝 |  <p>マリン体験</p>           |

|                                   |                                                                                                                                                                                                                               |                                                                                                        |
|-----------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 3<br>日<br>目<br>(7<br>月<br>1<br>日) | 6:30 起床<br>7:30 朝食<br>8:40 海洋博公園見学(植物園、水族館)<br>12:30 エメラルドビーチ着、昼食<br>13:30 水泳体験<br>17:00 博物館見学<br>18:00 教育委員会着、民泊引渡し式、<br>各民泊受入家庭へ移動(夕食、入浴、就寝)                                                                                |                                                                                                        |
| 4<br>日<br>目<br>(7<br>月<br>2<br>日) | (各民泊受入家庭で起床、朝食)<br>7:40 教育委員会集合<br>9:30 嘉手納道の駅にて基地見学<br>11:30 おきなわワールド見学、昼食<br>14:00 平和の礎、<br>沖縄県平和祈念資料館見学<br>15:00 ひめゆりの塔、<br>ひめゆり平和祈念資料館見学<br>16:20 那覇ショッピングセンター見学<br>17:10 ホテル着、ミーティング<br>18:00 夕食<br>19:50 入浴<br>21:00 就寝 |  <p>ひめゆりの塔見学</p>    |
| 5<br>日<br>目<br>(7<br>月<br>3<br>日) | 5:30 起床<br>6:20 朝食<br>7:00 ホテル発<br>8:00 那覇空港発<br>11:00 羽田空港発、昼食(弁当)<br>12:35 新千歳空港着<br>16:50 役場着、到着式、解散                                                                                                                       |  <p>琉球ガラスコップ作り</p> |

## 事後指導

### (1) 自己の成長を見つめる作文を書く

児童自身が活動をふり振り返り、体験の中で何に気づき感じたかを見つめることができ、自分の中の成長(何を感じることができたか～心の成長)を見つめることができた。

### (2) 体験活動の発表を行う

解団式において町長や教育長、学校長の前で作文を発表した。

# 海・山・里を網羅した宿泊体験の取り組み

## よこて さかえ 横手市立栄小学校

秋田県横手市大屋寺内字長谷下6-3  
電話番号 0182-33-5210  
FAX番号 0182-33-7565

|       |      |
|-------|------|
| 全学級数  | 7学級  |
| 全児童数  | 123名 |
| 全教職員数 | 15名  |

### 活動地域と宿泊先

秋田県山本郡八峰町及び秋田県南秋田郡大潟村

【受入組織：新生の大地大潟村体験推進協議会】 → 詳細は100ページ

| 地 域 名      | 宿 泊 施 設      |
|------------|--------------|
| 秋田県山本郡八峰町  | あきた白神体験センター  |
| 秋田県南秋田郡大潟村 | 農家民泊（5軒）（1泊） |

### 活動のねらい



- (1) 家族と離れて4日間にわたって仲間と共に集団生活と集団活動を行うことにより、自らを律する心、他人を思いやる心、力を合わせて困難を克服する力を育てる。
- (2) 多様な人々との交流活動から、相手の立場や考え方を尊重する態度を身に付けさせる。
- (3) 自然に親しみ、自然に対する畏敬の念や感動する心を育てる。

### 取り組み前の課題

- (1) 学校として初めての3泊4日という長期宿泊体験であるため、児童・保護者ともに不安が強かった。
- (2) 学校としても初めての体験となるため、現地の様子及び4日間にわたる具体的活動のイメージがつかめない職員が多かった。
- (3) 学校としての推進体制をどのようにすべきか大きな課題であった。
- (4) 学校を側面から支援する組織が必要であった。

|          |                       |
|----------|-----------------------|
| 対象学年・児童数 | 5年生・21名               |
| 実施時期     | 平成21年10月19日（月）～22日（木） |

## 活動地域の選定で決め手となったポイント



- (1) 受入地域の体制が整備されており、体験活動や民泊の調整等が十分に行える機能も備え、安全対策がしっかりと採られている点。
- (2) 本校からの問い合わせ依頼に対し、迅速かつ適切に対応されている点。
- (3) 受入地域担当者の誠意あふれる対応がすばらしかった点。
- (4) 環境が申し分なく良いこと。
- (5) 受入地域主担当と本校校長が「子ども農山漁村交流プロジェクト」関係で以前から知己であった点。

## 活動の成果

- (1) 家族と離れて4日間にわたって仲間と共に集団生活と集団活動を行うことで、自らを律する心、他人を思いやる心、力を合わせて困難を克服する力を育てる絶好の機会となった。
- (2) 多様な人々との交流活動から、相手の立場や考え方を尊重する態度を身に付けさせることができた。
- (3) 自然に関わる時間を十分に持てたことで、自然に親しみ、自然に対する畏敬の念や感動する心を育てることができた。
- (4) 体験活動を通して主体的、積極的に行動することで、個々の成長が促された。
- (5) 現地の方々との交流を通して、他者との関わり合いを豊かにしていこうとする気持ちを高めることができた。
- (6) やりぬくという体験活動を通して、自分への自信を深め、学校だけでなく家庭でも主体的に行動するようになった。
- (7) あきた白神体験センターでの活動は魅力的なものが多く、時期的なことで制約を受けた内容もあったが、子どもたちはその雄大さを満喫することができた。
- (8) 大潟村で村一番の産業である農業をそのまま体験活動に組み込み、それに子どもたちを巻き込んでもらえたことが非常にありがたく有意義であった。
- (9) 農家民泊は子どもたちの心の中にいつまでも残った。今後も可能な限り活動の中に取り入れていきたいものである。
- (10) 事後に保護者からたくさんの反響があった。保護者にとっても親子関係を見直す良い機会であったことがうかがわれた。

## 課題に対する解決策

- (1) 県及び市の事業担当者を招いて保護者説明会を開き、事業及び体験活動についての詳細な説明と質疑応答の機会を持った。また児童に対し体験活動についての情報提供を十分に行うことから事前指導を開始した。
- (2) 事前に職員4名が八峰町と大潟村の現地視察を行い、現地の関係者と情報交換の時間を持った。その様子を職員会議において全職員に伝えとともに保護者にも情報提供を行った。
- (3) 学校の推進体制として、校長・教頭・事務職員・教務主任・5年担任の5名からなる「豊かな体験活動推進委員会」を組織し、活動の全体計画を立案・作成して事業を推進していった。そして活動計画の立案段階から実際に活動が行われ、終了するまで職員に対して活動の推進状況について随時情報提供を行い、学校全体で活動に取り組む体制を作り上げた。
- (4) 学校支援委員会（6名：校長、PTA会長、横手市教育委員会指導主事、栄公民館館長、学校評議員、教頭）を組織し、事業の計画及び遂行状況全般に関して助言と支援をいただいた。

## 体験活動の実施体制 . . . . .

### 学校の指導（支援）体制

- (1) 学校として初めての3泊4日という長期宿泊体験であるため、児童・保護者ともに不安が強かった。そのため県及び市の事業担当者を招いて保護者説明会を開き、本事業の趣旨、実践例、体験活動の概要などについて説明を行い、質疑応答の時間も持った。また、職員4名が夏季休業中の一日、八峰町と大湊村の現地視察を行い、現地の関係者と情報交換の時間を持った。その様子を職員会議において全職員に伝えるとともに保護者に情報提供を行った。
- (2) 4日間の引率教員の交代は行わなかった。これは引継ぎによる指導よりも同一教員による管理指導の方が児童の変化を継続して把握するために有効であると判断したためである。
- (3) 子どもたちに社会性の涵養を植えつけるため、親元を離れての生活では全て子どもたちの力で乗り越えさせ、民宿では民宿の方に任せて教員は民宿の巡回は行わなかった。

## 配慮事項等（安全確保のための改善点、衛生上の留意点等） . . . . .

### 安全確保

- (1) 学校と受入地域となる八峰町及び大湊村の各担当者で、安全確保に向けた事前打合せを実施した。
- (2) 事前下見を一度行い、活動場所の事前点検を実施した。
- (3) 緊急対応時の連絡系統を事前に十分に確認した。

### 衛生上の留意点

- (1) 食物アレルギー等について事前調査を行い、食事のメニュー等の事前調整を実施した。
- (2) 日常的に手洗いの習慣がいっそう定着するように手洗いを徹底指導した。

## 感想 . . . . .

### 保護者からの声

- (1) ふるさと子ども夢学校、ご苦労様でした。3泊4日という体験で親はちょっと心配しましたが、子どもはそんな心配をすることもなくみんなと楽しんで過ごして来たようです。



民泊農家の方々との対面式



さつまいも掘り

- (2) 自然の大切さ，グループでの協力，農業や仕事の大切さ，感謝の気持ちなどなど書ききれないほどの体験をありがとうございました。家でもお手伝いをしてくれるようになり嬉しく思っています。校長先生はじめ先生方に感謝しております。ありがとうございました。
- (3) 先日のふるさと子ども夢学校の体験，ありがとうございました。3泊4日という今までにない期間を先生，仲間と楽しく過ごせたようです。相変わらずのわがまま振りは我が家では全開ですが，子どもにとって貴重な体験になったと思います。ありがとうございます。
- (4) 親としては本当にさみしい4日間でした。ぽっかり穴が開いたような。子離れしていないことに気づかされました。そんな心配をよそに「もっと泊まって来たかった」「とっても楽しかった」と体験してきたことをたくさん話してくれました。とても良い活動をして来たと思います。一回り大きくなって帰って来たような感じがします。いろいろありがとうございました。
- (5) 子どもは行く前は「行くのがいやだな，我が家が一番」なんて話していたのですが，帰って来て話を聞くと，「とっても楽しかった，帰って来たくなかった」と様々な体験話や友だちのこと，またお世話になった方々のことなど，よく話してくれました。
- (6) 貴重な，そして一生思い出に残る体験ができ，感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。
- (7) 子どもはいつもは学校のことなど話さないのに，ふるさと子ども夢学校のことを自分からたくさん話してくれました。
- (8) 子どものいない4日間を過ごし，子どもがいることのありがたさを改めて知りました。

### 児童からの声

- (1) 私はシーカヤックでみんなと協力して漕ぐことができました。力を合わせてがんばることの大切さを学びました。
- (2) 留山（白神山地）にすごく大きなブナの木があって，ブナの木にクマの爪あとがついているのを初めて見ました。
- (3) とうふ作りでみんなと協力しました。そしていろいろなことをまなびました。
- (4) とうふ作りでおじいさんの感動的なお話が心に残りました。
- (5) 白神体験センターの人たちと仲よくすることができました。
- (6) ホームステイ先の農家の人たちと仲よくすることができました。
- (7) いろいろな農業体験が楽しかったです。
- (8) グループのみんなといっしょに活動したことが楽しかったです。
- (9) ソーラーカーに乗って大学生のお兄さんたちと仲よくすることができました。
- (10) いろいろなことを体験したことが楽しかったです。
- (11) たくさんの人たちとふれ合うことができ，人への感謝の気持ちを知ることができました。



## 実施までの経過 . . . . .

- 平成21年 4月22日 豊かな体験活動推進事業の推薦（2次募集）について県教委より市教委へ通知あり。
- 5月20日 県総務企画部総合政策課「秋田発・子ども双方向交流プロジェクト」担当2氏が来校する。事業の説明を受ける。
- 6月 5日 「秋田発・子ども双方向交流プロジェクト」推進協議会に教頭が出席し、事業の概要について説明を受ける。
- 6月24日 保護者説明会を開催し、本事業の概要を説明する。（県、市の担当者も出席）  
※八峰町の子ども農山漁村交流プロジェクトに関する事例発表もあり、活動のイメージが明確になった。
- 8月20日 職員4名が横手市の公用車で八峰町と大潟村を訪問し、現地視察を行う。体験活動場所、宿舎の確認を行う。
- 10月 1日 豊かな体験活動推進事業の実施及び予算執行について市教委より通知あり。
- 10月19日 長期（3泊4日）宿泊体験「ふるさと子ども夢学校」を実施する。

## 活 動 内 容 . . . . .

### 事前指導

#### (1) 活動の概要説明

活動例を紹介しながら、今回の体験活動について見通しをもたせた。

#### (2) 活動に対する事前アンケートの実施

活動に対する思いや考え、活動内容に対する考えなどについてアンケートをとり、それを集約し、活動の決定に生かした。

#### (3) 活動目標、活動内容の設定及び役割分担の決定

活動内容を決定し、グループごとに活動目標、活動内容及び役割分担について話し合った。

### 日 程

| 月日                                  | 行     | 程               |
|-------------------------------------|-------|-----------------|
| 1<br>日<br>目<br>(10<br>月<br>19<br>日) | 8:10  | 学校集合，出発式        |
|                                     | 8:30  | 学校出発（バス）        |
|                                     | 11:30 | 白神体験センター（八峰町）到着 |
|                                     | 11:40 | 入所の会            |
|                                     | 12:00 | 昼食              |
|                                     | 13:30 | 日本海での体験活動       |
|                                     | 17:00 | 入浴              |
|                                     | 18:00 | 夕食              |
|                                     | 19:00 | 白神山地についての事前学習   |
|                                     | 21:00 | 消灯              |



日本海でのシーカヤック体験

|                                     |                                                                                                                                                                                    |                                                                                                     |
|-------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 2<br>日<br>目<br>(10<br>月<br>20<br>日) | 6:00 起床<br>7:00 朝食<br>9:00 白神山地での体験活動<br>12:00 昼食<br>13:30 白神体験センターでの選択活動<br>18:00 夕食<br>19:00 入浴<br>20:00 ふり返し活動<br>21:00 消灯                                                      |  <p>白神山地での散策</p>  |
| 3<br>日<br>目<br>(10<br>月<br>21<br>日) | 6:00 起床<br>7:00 朝食<br>8:00 退所の会<br>8:30 八峰町出発（バス）<br>9:30 大潟村到着，入村式<br>10:00 干拓博物館等見学<br>12:00 昼食<br>12:30 民泊農家の方々との対面の式<br>13:00 各農家での体験活動<br>18:00 夕食・入浴（各農家で）<br>21:00 消灯（各農家で） |  <p>コンバイン運転体験</p> |
| 4<br>日<br>目<br>(10<br>月<br>22<br>日) | 6:00 起床（各農家で）<br>7:00 朝食（各農家で）<br>8:00 各農家での体験活動<br>9:00 さつまいも掘り<br>10:00 焼き芋パーティー<br>12:00 昼食（新米おにぎり作り）<br>13:00 離村式<br>13:30 大潟村出発（バス）<br>15:30 学校到着，解散式                         |  <p>焼きいも活動</p>  |

## 事後指導

### (1) お世話になった方々へのお礼の手紙を書く

お世話になった民泊の方々に，体験から学んだことや感謝の気持ちをお礼の手紙にまとめ，お届けした。

### (2) 活動の記録をまとめる

単なる活動の記録にならないようテーマを設けて書かせた。テーマを設定することで児童は焦点を絞って活動を見つめることができ，自分の中の成長を見つめることができた。

### (3) 体験活動の発表会を行う

全校PTAでの参観授業で，保護者に対し体験活動の発表会を行った。